

2024年8月6日

つくば市長 五十嵐立青 様

水道料金値上げ中止を求める要望書

日本共産党つくば市議団
つくば市議 橋本佳子
つくば市議 山中真弓
日本共産党つくば市委員会
市委員 佐藤せつ子

令和6年7月25日に、つくば市上下水道審議会から水道料金改定を行う答申書が市長に提出されました。

2025年4月から計画されている水道料金の値上げ案は、平均で15%、多くの一般家庭は20%以上の値上げ計画です。

今回の値上げは、過度な借金を後世に残さないことなどを理由に挙げていますが、つくば市は令和2年度比で企業債を2~2.5倍に増やしています。さらに、施設整備費を令和4年度比で、1.5~2倍に予算額を増やしています。その主な事業内容は、配水管の敷設(老朽管の更新)です。

3.11の東日本大震災では、つくば市の水道管の漏水箇所が多数発生した実績もなく、耐震性も高い水道管となっていることがわかります。ここ数年も漏水箇所は60~80か所で横ばい状態。急速に工事を進めるための、過度な借金は必要はありません。

令和3年度まで4億円入れていた一般会計からの出資金(補助金)を令和4年から減らし令和5年~6年度は、2億円しか予算が組まれていません。出資金を令和3年度までの4億円程度で継続すれば、値上げの必要はありません。

日本共産党が行った市民アンケートでは、「物価高で生活が苦しくなった」という回答が8割の方から寄せられました。若者・子育て世代も、現役・高齢者世帯も公共料金の引き下げを求めるなど、市民生活は逼迫しています。

一般家庭で20%以上にもなる水道料金値上げは、物価高で苦しむ市民生活をさらに圧迫します。よって、以下を要望します。

【要望事項】

1. 過度な借入を中止し、必要に応じた工事スケジュールを組み直し整備をすすめること
2. 出資金を少なくとも令和3年度予算並みに、もしくは必要に応じてさらに増やすこと。
3. 市民生活をさらに苦しめる水道料金の値上げを中止すること